

社会的課題へのわれわれの挑戦

国際社会においては、2015年に国連サミットで持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) が採択され、そこで定めた17の目標の達成に向けて、企業の参画が求められています。太陽誘電もこの国際的な背景に加え、当社の経営理念や今後のAI社会、IoT社会におけるニーズを踏まえ、重点課題を明確にした取り組みを進めることで、社会的課題の解決へのわれわれの挑戦を継続していきます。

経営理念に基づくCSR活動

太陽誘電の経営理念は、「従業員の幸福」「地域社会への貢献」「株主に対する配当責任」の3原則を実践することです。グローバルな観点で社会性、公益性、公共性を全うし、事業を継続的に発展させていくことが会社の社会的責任であり、経営の使命と考えています。

さらに、当社ビジョンは、「お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニー」になることであり、市場のニーズに合ったスマート商品を創出し、あらゆる市場で私たちがつくつ

た商品を使用していただくことで事業を拡大、経済価値を高めていきます。また、増加・高度化するステークホルダーからの要求や期待に応じて社会的責任を果たすことで信頼を得て、社会価値を高めていきたいと考えています。

これらを実現するため、安全で高品質なスマート商品を開発・生産・販売し、労働・人権・安全衛生・環境・倫理という企業での取り組みにおいても責任をもち、活動を継続実施していきます。

した。社会から信頼され、愛されるために、人権を尊重し、あらゆる法令や国際ルールおよびその精神を順守するとともに、高い道徳観、倫理観に基づき、社会的良識をもって行動します。

CSR憲章

当社グループの経営理念を、より明確にステークホルダーの皆様へ表明するため、太陽誘電グループは「CSR憲章(太陽誘電グループ社会的責任に関する憲章)」を2005年に制定しま

CSR推進体制

太陽誘電グループのCSR活動は、内部統制委員会が全体を統括し、推進組織として行動規範の各条文や対象リスクごとに担当役員とHQ部門が選任され、そこから示される活動方針やグループ共通ルールに従い各グループ会社が実行する体制(コンプライアンス・リスク管理体制)によって運営されています。



コンプライアンス・リスクマネジメント

太陽誘電では、コンプライアンスとリスクマネジメントをCSRマネジメントシステムの主活動として取り組んでいます。

順守すべき法規制や事業活動に影響を与えるリスクを各組織単位でリスト化し、法規制の順守手順や、リスクの低減対策を立案・実施しています。

また、新たな法規制やリスクは随時リストに追加するとともに、既存の法規制やリスクについても、その順守手順や低減対策が妥当であるか毎期再評価を行い、法規制順守の徹底やリスクの予防および最小化に努めています。

<https://www.yuden.co.jp/jp/company/csr/management/>

CSRマネジメントシステムとSDGs

太陽誘電グループは、CSR憲章で示した内容の実現や、CSR行動規範および法規制を順守するため、CSRマネジメントシステムを構築しています。行動規範で示す具体的な実行方針を推進するための仕組み、ルールを整備し、グループ各社がPDCAによる活動を実施しています。

また、2015年に国連サミットで採択された持続可能な開発

目標 (SDGs) で掲げられるさまざまな社会的課題に対して、太陽誘電グループの事業やESG活動を通じて貢献することを考え、CSRマネジメントシステムの運用により継続的に改善を図り、持続的な成長を実現していきたいと考えています。

ここでは、太陽誘電グループの行っている事業活動・ESG活動とそれぞれに該当するSDGsへの貢献をご説明します。

SDGs関連表

SDGs 目標	太陽誘電の取り組み	関連リンク
3 健康な生活とウェルビーイング	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	太陽誘電グループの各拠点で献血活動を行っています 社会貢献(献血活動)
4 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	理科への興味・関心向上のため、電子工作を体験できる子供向けモノづくり教室を開催しています 創業者が設立した交通遺児福祉基金をはじめ、奨学金などへの寄付を行っています 社会貢献(モノづくり教室の開催) 社会貢献(社会福祉活動への支援)
5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	多くの意欲ある女性が活躍できる雇用環境を整備するため、推進行動計画を策定し、実行しています ダイバーシティ推進活動
6 安全な水と衛生をみんなに	すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	事業活動で発生した廃水の処理を行い、安全な水を排出しています 多様な生物が生息する水辺の清掃活動を行い、水に関連する生態系の保護に貢献しています 水リサイクルを推進し、水使用量を削減しています 安全環境報告書サイト別データ 社会貢献(山・川・海の清掃活動) 取り組み事例(廃水リサイクルによる節水) 廃棄物/水資源
7 持続可能なエネルギーをみんなに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	太陽光発電の監視システムや発電電力の損失を防ぐ製品を提供し、太陽光発電の効率化に貢献しています 再生可能エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムによる発電を行っています ソリューションのご提案/太陽光発電向けニュースリリース「本郷太陽光発電所」稼働開始のお知らせ
8 持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	高水準な安全衛生を目指し、安全な労働環境の整備を行っています 安全衛生活動(取り組みと状況)
9 持続可能なインフラをみんなに	レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る	エネルギー効率を高めるため、長寿命・高容量密度のリチウムイオンキャパタを開発・供給しています 製品情報/ソリューションのご提案(リチウムイオンキャパタ) 身のまわりで活躍する太陽誘電の商品
10 国内および国家間の不平等を是正する	国内および国家間の不平等を是正する	あらゆる形の差別を禁止する機会均等方針を定め、実行しています 労働・人権活動
11 持続可能な都市と人間住居をみんなに	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする	安全な街づくりのため、防犯システムなどにワイヤレスセンサーネットワークが活用されています ワイヤレスネットワーク/医療・介護・防犯
12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	資源の効率的な利用を行っています 生物多様性への影響低減、自然との共生のために、廃棄物および水資源の3R (Reduce、Reuse、Recycle)を行っています 地球温暖化防止のため、エネルギー使用量の削減を行っています 持続可能性に関する活動情報を定期的に報告しています 環境中期目標と達成状況(太陽誘電グループの環境目標と実績) 廃棄物/水資源 地球温暖化 安全・環境報告書
13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	地球温暖化防止のため、エネルギー使用量の削減を行っています 持続可能性に関する活動情報を定期的に報告しています 地球温暖化 安全・環境報告書
14 持続可能な海洋資源をみんなに	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	健全な海洋を実現するため、フィリピンの海辺に毎年1万本のマングローブ植林を行っています 海洋汚染防止のため、川や海辺の清掃活動を行っています 生物多様性方針(マングローブの植林) 社会貢献(山・川・海の清掃活動)
15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	森林の回復のため、フィリピン、マレーシア(サラワク)などでの植林活動を行っています 山地生態系の保全を確保するため、下草刈りや間伐作業を行っています 生態系保護のため、外来生物の駆除を行っています 社会貢献(植林活動) 生物多様性方針(森林整備ボランティア) 生物多様性方針(外来生物の駆除)
16 平和と公正な社会をみんなに	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する	紛争鉱物のリスクを特定・評価し、責任ある鉱物調達(3TG/錫、タンタル、タングステン、および金)を行っています 責任ある鉱物調達への対応